

子どもは、幼児期の多様な活動を通じて、生涯にわたる学習意欲や学習態度の基礎となる好奇心や探究心を培います。岐阜市の幼児教育では、子どもの“探究心”を育むことを大切にした様々な取り組みを行っています。

探究心が育まれるためには、安心が基盤となります。その上で、子ども自身の興味や関心をきっかけとして、夢中で遊び込む中で探究心が育まれていきます。周囲の大人は、日頃から子ども自身の興味や関心などに寄り添った支援を行う必要があります。

そうして育まれた探究心は、非認知能力をはじめとした、一人ひとりの子どもの資質・能力の育ちや、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」へとつながっていきます。

探究心を育む教育を主軸として、子どもに関わる全ての大人が連携し、オール岐阜の幼児教育を推進していきます。

本プランでは、「幼小」という言葉を幼児期と児童期(小学校)を指すものとして、「つなぐ」という言葉を接続(カリキュラムや実践のつながり)と連携(教職員同士のつながり(幼児・児童の交流を含む))を含む幅広い結び付きを指すものとして用いています。また、保育所は、公立と私立をそれぞれ記載する場合を除いて「保育園」と、認定こども園は、類型に関わらず「こども園」と表記しています。

## 探究心の成長過程

